

2016年卒ブンナビ学生アンケート(2015年8月上旬実施)の調査結果を発表

【2016卒8月速報】内々定率7割、3割が就活終了、「辞退連絡していない企業がある」48%。8/1(日)指定の企業アプローチ、「5社以上」の学生も。「朝9時から夕方5時まで拘束」他。

株式会社文化放送キャリアパートナーズ(本社:東京都港区、社長:竹村勝彦)は、2016年卒業予定の学生を対象とした「2016年卒ブンナビ学生調査(2015年8月上旬実施)」の調査結果を発表しました。本調査は就職活動期間に毎月定期的に実施し、就職活動状況、職業観、学生生活などを調査しています。

概要は以下の通りです。

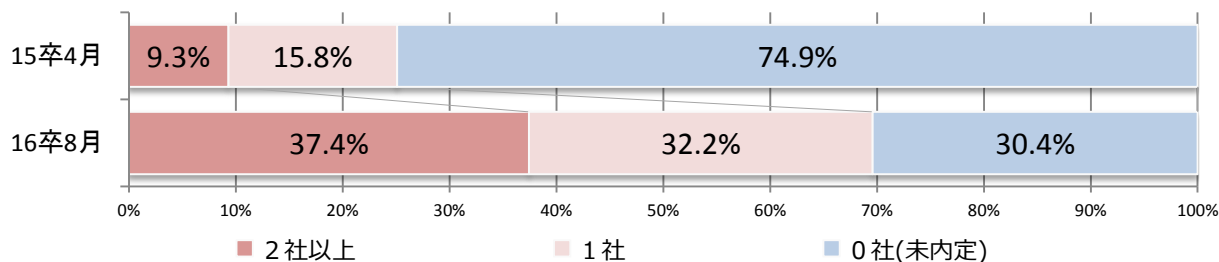
■内々定率69.6%(昨年4月25.1%)、就職活動終了32.6%、内定辞退未連絡48.8%

8月の選考解禁日を過ぎ、内々定率は69.6%と大きく上昇した(前回7月下旬調査:53.6%)。

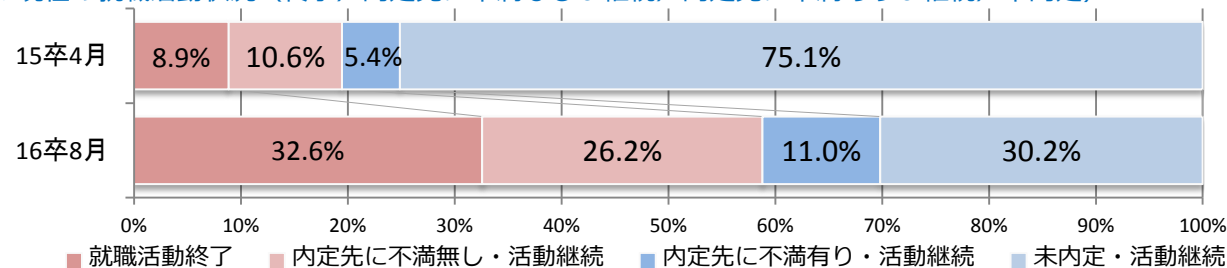
※2015年卒同時期内々定率(4月選考解禁)25.1%

更に、3割の学生が「就職活動を終了した」という結果となった。

▼内々定保有率(2社以上/1社/0社)



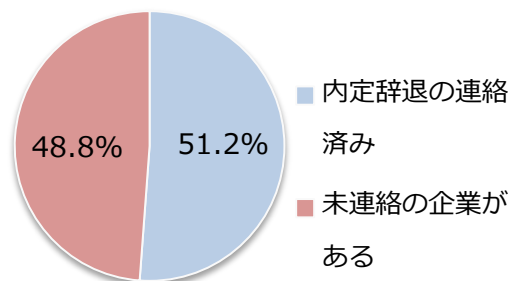
▼現在の就職活動状況(終了/内定先に不満なし&継続/内定先に不満あり&継続/未内定)



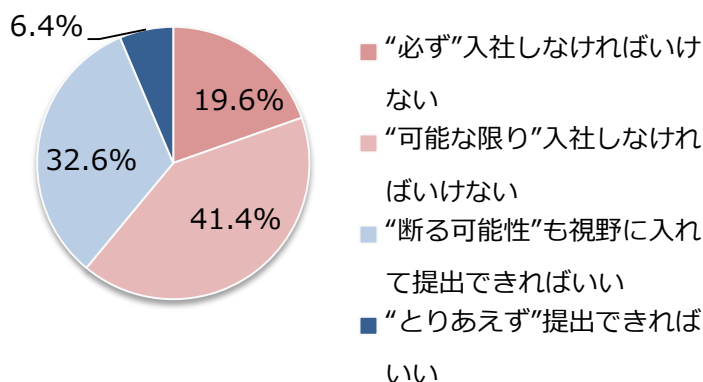
また、2社以上の重複内定者のうち、半数弱の48.8%の学生が「まだ内定辞退の連絡をしていない企業がある」と回答した。

一方、内定承諾書の意味合いについて聞いたところ、「「必ず」入社すべき」という認識は19.6%にとどまった。

▼志望度が最も強い内定先以外に内定辞退の連絡をしましたか?



▼「内定承諾書」を企業に提出する際、どのくらいの意志を持つべきだと思いますか?



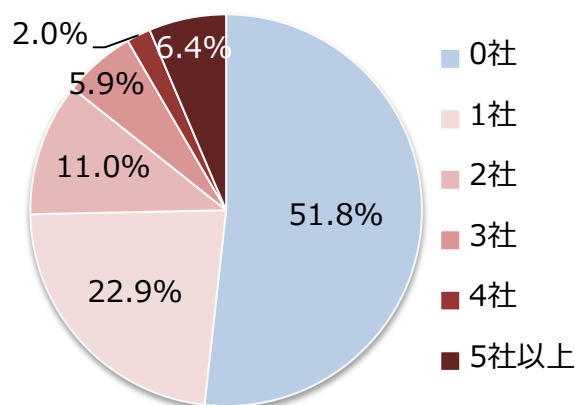
■ 8/1(日)を指定した企業アプローチを経験した学生が48.2%・ほぼ丸一日拘束も

「8月選考ルール」となった初年度、8/1は日曜日だったが、この日を指定した企業からのアプローチを経験した学生は、48.2%に上った。

早稲田大学・慶應義塾大学の学生からは「5社以上からアプローチ・呼び出しを受けた」という回答もあった。

その中で、4割弱の学生が、「同日に内々定を出された（内々定を出すと予告された）」としている。土日返上で、いち早く学生を囲い込みたいという企業の姿勢が表れている。

▼面接解禁日とされる「8/1(日)」を指定した企業からのアプローチの社数



選考解禁日にあった印象的な出来事を質問してみたところ、様々な反応があった。

▼「8/1(日)にあった出来事・企業から受けた連絡・発言などで印象に残ったもの（抜粋）

「朝から筆記試験（一般常識・専門科目）を行い、午後から面接があり、ほぼ丸々一日拘束されていた。」（国立大院生・文系・男性）

「1日に来たら内々定を上げると言われ、朝9時から夕方5時ごろまで拘束された」（国立大・文系・男性）

「オフハラがあった」（国立大院生・理系・男性）

「他社を断ったら、メールをくださいと言われた」（国立大院生・文系・女性）

「学校推薦だったからかもしれないが、面接終了してから二時間後に内定が来た」（私立大・理系・男性）

「解禁日に1日中懇親会名目で学生を拘束する企業があった。」（私立大院生・理系・女性）

■ 2016年卒ブンナビ学生アンケート調査概要

調査名 : 2015年8月上旬アンケート
調査対象 : 2016年春就職希望の「ブンナビ」会員大学生・大学院生
調査期間 : 開始:2015/8/2 ~ 終了:2015/8/10
調査方法 : Webアンケート
有効回答数 : 454件

■ 本件に関するお問い合わせ先

企業名 : 株式会社文化放送キャリアパートナーズ
担当者 : 間宮
TEL : 03-5776-3213
E mail : sjk@careerpartners.co.jp
URL : <http://www.careerpartners.co.jp/>